

平成22年4月23日  
原子力安全対策課  
(22-13)  
<16時資料配布>

## 美浜発電所2号機の原子炉停止について (1次冷却材中の放射能濃度の上昇)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

美浜発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力50万kW)は、化学体積制御系統の空気抜き配管溶接部からの漏えいの対策工事を行った後、平成22年4月9日から定格熱出力一定運転中であつたが、4月19日、1次冷却材中の希ガス(Xe-133)濃度が前回の測定値を上回ることが確認されたため、燃料集合体からの漏えいが発生した疑いがあると判断した。

また、1次冷却材中のヨウ素濃度は、保安規定で定めている運転上の制限値(45,000 Bq/cm<sup>3</sup>)に比べて十分に低く、1次冷却材中の放射能濃度の測定頻度を上げて監視を強化するとともに、今後、漏えい燃料の特定調査を行うため、計画的に原子炉を停止することを検討することとした。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

[平成22年4月19日 記者発表済]

美浜発電所2号機は、本日18時頃から出力降下を開始し、24日1時頃に発電を停止した後、2時頃に原子炉を停止する。

今後、1次冷却材中の放射能を低減させた上で、漏えい燃料の特定調査を実施する予定である。

問い合わせ先(担当:内園)  
内線2353・直通0776(20)0314

美浜2号機 1次冷却材中のよう素濃度、希ガス濃度および電気出力の推移  
 (平成22年3月2日～4月23日)

